歴史的風致維持向上計画（第２期）の進行管理・評価の概要

１．目的

○歴史的風致維持向上計画の進捗状況や成果の発現状況の自己評価を通して、計画に位置づけた方針の達成および課題の解消を着実に進める。

○歴史的なまちづくりの地域への効果を把握し、行政の取り組みの説明責任を果たすとともに、成果をあげた取り組みにおける工夫等の情報共有を図り、今後の取り組みの一助とする。

２．進行管理・評価の方法

○計画に記載された取り組みについて毎年度評価を行う**「進捗評価」**と、計画に記載された方針の達成状況、他計画との連携や部署間の連携を通じて生じた波及効果、さらには歴史的風致の維持向上の状況等について、計画期間の中間及び最終年度に評価を行う**「中間・最終評価」**の２通りの手法により実施。

○評価結果について、法定協議会で確認するとともに、ホームページ等を通じて市民に公表。

進捗評価

毎年度実施
（松江市：令和２～令和11年度に毎年度実施）

施策･事業の進捗状況(アウトプット)の評価
【自己評価】

・歴史的風致維持向上計画に定められている事項を元に、次の評価軸ごとに、施策･事業の進捗状況を評価し、翌年度の取り組みに反映する。

①組織体制
②重点区域における良好な景観を形成する施策
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項
④文化財の保存又は活用に関する事項
⑤効果・影響等に関する報道
⑥その他

中間・最終評価

計画期間の中間年度（3～5年程度）、
計画最終年度に実施
（松江市：令和11年度）

歴史的風致維持向上等の評価
【自己評価、外部評価】

・評価の対象：○計画に基づく方針の達成状況
○波及効果
○代表的な事業の質
○歴史的風致の維持向上

・庁内の意見、パブリックコメント等による意見や、協議会の意見を整理
・今後、歴史まちづくりを進める上での課題や、今後の対応(次期計画の策定等も含む)について整理

「松江市歴史的風致維持向上計画（第2期）」の進行管理・評価の実施予定年度

※第2期計画：令和2年3月31日認定

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中間評価					○					
最終評価										○